

あゆみ

＼TAKE FREE／
ご自由にお持ち帰り
下さい

P2-3 退任・退職者の挨拶

P4 2024年度を振り返って&2025年度の抱負
病院職員のお仕事紹介

P5 老健だより花かすみ コラム：交通安全呼びかけ運動

P6 かんご部トピックス(市民講座・病院説明会の様子)
冬から春へ行事食紹介

退任・定年退

今年の3月をもちまして、退任・定年退職される方々の紹介となります。外科の畠山医師も退職されますが、ご意向によりお写真・ご挨拶を控えさせていただいております。畠山医師は統括診療部長・外科診療部長として外来や手術におきまして、長い間二本松病院に貢献されてきました。

少しですが畠山医師の実績をご紹介しますと思います。日本消化器外科学会認定専門医、指導医の資格を有し、胃癌、大腸癌の手術・治療はもとより、より高度の技術を要する肝癌、胆道癌、膵臓癌の手術・治療も専門としておられました。また早期の胃癌、大腸癌では身体への負担が少ない腹腔鏡下手術も積極的に行われてきました。



副院長 柳沼 健之

平成2年(1990年)5月1日、橘内芳一先生の後任として旧全国社会保険連合会二本松病院に赴任してまいりました。以後病院名は変遷しましたが、足かけ36年にわたり当院に内科医として勤務をさせていただきました。当時は常勤医も十数名、内科医も4名おり、その後さらに増員され、賑やかな病院でした。病床はいつも満床に近く、空きベットを探すのに苦労し、満車の駐車場に苦情が出るほどでした。病院業務に加えて、訪問診療、健診や糖尿病教室など多彩な業務に精を出すことができました。

その後、全国の医師不足の煽りを受け、当院も例外では無く医師の減少に陥り、整形外科、産婦人科、小児科、泌尿器科と次々に休診に追い込まれ、常勤医もわずか4名と大変寂しくなっていました。そんな中、「東日本大震災」、「コロナ禍」とふたつの大きな災害の波を何とか乗り越えることが出来ました。看護師さん、薬剤師さんを初め診療部門の技師さん、栄養課の皆さん、介護士さん、事務員さん、そして清掃員さん達にも大変助けていただきました。

たくさんのお患者さんを残して病院を去るのは大変心苦しいのですが、丁度私が当院に赴任した頃と同じくらいの若い先生たちが、たくさん赴任してくださり、心穏やかに退職することが出来ます。長年にわたるご厚情に心より感謝を申し上げます。有り難うございました。



副看護部長 高橋 秀子

私事ですが、令和7年3月31日定年退職を迎えます。皆様に支えられ、感謝の念でいっぱいです。私は平成元年助産婦として現仙台南病院に入職しました。産婦人科の休診に際し、自己のキャリアについて大いに悩み、看護管理の道を選びました。新人看護師臨床研修導入や地域包括ケア病棟開設など夢中で取り組んだのが良い思い出です。大きな転機は定年2年前の春にやってきました。二本松病院への転勤です。二本松病院の皆様は非常に真面目で、情が厚く、新参者の副部長を今までいた仲間のように暖かく迎えてくださいました。より良い看護を提供す

るために、部長や師長副師長と様々な問題解決に取り組み、支え合いながら歩んだ日々はかけがえのない宝物です。また、産後デイでは、お母さんより感謝のお手紙もいただき、封印していた自分のルーツに出会うという嬉しい体験もしました。微力ながら、二本松病院に貢献できたことを誇りに思います。

皆様とのご縁を大切に、これからもJCHOの仲間としてお互いに励まし合える関係でありたいと思っております。

最後になりますが、これまでのご支援、ご指導に心より感謝申し上げます。二本松病院の更なる発展、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

職者のご挨拶



外来看護師長 佐藤恵美子

このたび定年を迎え退職することとなりました。新卒で入職し先輩方のご指導のもとで、病棟、手術室、外来勤務を経験し38年が過ぎました。それまでの間には、震災時の看護を経験し、5年前からの外来勤務ではコロナ患者さんの対応に携わり、常に職場の皆さんと支え合いながら困難を乗り越えてきた思い出があります。そうして二本松病院で働いた全てが人生の糧となっています。

これまで皆様に支えていただきながら、働くことができたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



入退院センター看護師長 五十嵐千津子

二本松病院に勤務して32年、このたび定年退職を迎えることとなりました。

入職の頃は、個性豊かな先輩やスタッフの方に囲まれ、当時ならではの活気のあるなかで、様々な経験をさせていただきました。今だから言える笑い話もあり、懐かしく思い出されます。これまで出会った多くの方々に、成長させていただいたと感じております。仕事を続けて定年を迎えられたことは、皆さまのご指導とご支援があつてのことと、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



4階病棟看護師 渡邊隆子

昭和63年4月に当院に就職しまして37年、無事定年退職を迎えることができ、ほっとしています。医療・看護の進歩・変化に落ちこぼれそうになりながらも、皆さんの支えによりここまで勤め上げることができました。

本当にお世話になりました。皆様の今後のご活躍を心から祈念いたします。



4階病棟看護師 根本靖子

昭和61年4月、新卒で当時の社会保険二本松病院に就職しました。そして時は流れ、令和7年3月31日をもってこの病院を退職します。様々な先輩方や先生方がいました。バブル時期も過ぎたけれど恩恵はあまり感じなかったなあ…喜んだり落ち込んだり励まされたり、多くのことをこの病院で経験しました。

今現在、良いスタッフに恵まれ、素の自分が出せてワイワイ仕事ができる!そんな楽しかった思い出を持って退職したいと思います。皆様、長い間ありがとうございました。そしてお世話になりました。ご多幸をお祈りします。



老健2階看護師 三浦美由紀

このたび、長年にわたり勤めました二本松病院を定年退職することとなりました。私が生まれたこの病院で、多くの患者様とご家族、そして素晴らしい同僚たちに支えられながら看護師として働けたことは、私にとってかけがえのない経験でした。

これからも二本松病院の発展と皆様の健康をお祈りしております。本当にありがとうございました。



臨床検査技師 斎藤利江

2014年入職し、二本松病院がJCHO移行10周年を迎えると共に私自身も勤続10年になり、無事定年を迎えることとなりました。

それまでは職場を転々としたのですが、最後は地元二本松であたたかく見守られながら、地域に根差した医療に関われたことに感謝しています。ありがとうございました。

2024年度を振り返って&2025年度の抱負



院長 鈴木 真一

院長として赴任した年で、何もわからないところを吉田事務長、中野渡看護部長の手厚いサポートのもと本院の運営の陣頭指揮に当たってまいりました。

常勤医師も4名から7名と増加し、年末にはやっと入院患者数の増加を見込めるようになり、職員の皆様全員のご協力の賜物と思っております。引き続き次年度もよろしくお願い申し上げます。



看護部長 中野渡 千早

二本松病院の看護部長に着任させて頂き、早1年が過ぎようとしております。春の桜、四季折々の果物、秋の提灯祭りなど魅力ある二本松を堪能しつつ、皆様に支えて頂き楽しみながら働くことが出来ております。

これからも職員の皆さんが楽しく生き生きと働ける職場作り、地域の方々の生活を支える医療・介護の提供を使命とし、皆さんと共に邁進していきたいと思っております。

病院職員のお仕事紹介

【医事課】



医事課 鈴木 友理

仕事内容

医事課では主に入院費の計算、診断書の作成の補助、窓口対応などを担当しています。入院費の請求書が患者様のお手元に届く前に、算定漏れがないか、過剰にコストを取っていないかどうか確認しています。

病院経営の基盤となる施設基準のチェックも医事課で行っており、月初めにはレセプトの点検業務も行っています。診断書の作成の補助は主に外来の医師事務作業補助者が行っていますが、各外来の入り口で見かけたことのある方も多いのではないのでしょうか。診断書の作成補助のほか、医師の代行として電子カルテへの入力などを行っています。

医事課という言葉は聞き馴染みのない方も多いと思いますが、陰で病院経営を支える部署の一つとして日々努めています。

質問コーナー

Q1.仕事で気をつけていることは？

請求を出すまで、日々の業務で細かいところに気を付けて確認するよう心がけています。

Q2.休日の過ごし方は？

家でゆっくりする人や外出を楽しむ人など、各々の方法でリフレッシュしています。

Q3.今後の目標は？

更新される情報や制度に敏感に、知識をアップデートしつつ臨機応変に対応したいです。



次回の紹介部署は栄養管理室になります

二本松病院附属介護老人保健施設だより

花かすみ

各フロアでは毎月季節の壁飾りを作っています。季節の花々(椿・桜・紫陽花)やイベント(お正月・クリスマス)をモチーフとし、皆さんで意見を出し合いながら作成しています。作った作品は各フロアの食堂など共有スペースに飾っています。玄関に飾られているのはデイケアの方の作品です。季節によって作品が変わるので、来所された際は、是非ご覧ください。



担当者の感想

利用者の方と話し合いながら、今年の干支「巳」の壁飾りを作りました。みんなでアイデアを出し合いながら作り、お正月には各フロアに飾る事ができました。各フロアの特徴がしっかり出て、フロアの雰囲気を明るくしてくれています。

コラム

交通安全呼びかけ運動

2月3日に二本松警察署及び成田分会の方たちが、交通安全の呼びかけ運動を行ってくださいました。反射材の入ったお手製の処方せんが配布され、夜間の外出時にぜひ身に着けてほしいとのことでした。受け取った方は「反射材を活用して、気をつけて外出したいね。」と話されました。皆さんも夜間の外出や道路を横断する際は、十分に注意しましょう。

総務企画課 乗石 愛子



かんご部トピックス



市民の皆様へ情報発信！

2/20 に市民講座を開催しました

今回は「認知症を予防しよう」という演題でお話しさせていただきました。内容として、初めに認知症の種類と症状について、アミロイドβという特殊なタンパク質が溜まり、脳が委縮して機能低下が起こります。認知症の中で一番多いのはアルツハイマー型認知症でアミロイドβが蓄積する原因として、生活習慣病(高血圧・脂質異常症・糖尿病・肥満)が関係しています。次に脳血管性認知症で、喫煙や動脈硬化による血管障害(脳梗塞や脳出血など)が原因になります。

近年認知症に関する研究が進んでおり原因の解明が進み。予防方法も判明してきました。予防として、①適度な運動②バランスの良い食事③歯磨き④睡眠⑤社会的接触⑥日課や役割を持つことが大切です。「昔からこうすると健康的だよ」と言われていることが認知症予防になります。

認知症看護認定看護師 菅野 春江

市民講座を終えての感想

当日は、用意した椅子の空きがほとんどない位の多くの方に参加して頂き認知症に対しての関心が高いと感じました。これからも地域の皆様の健康で幸せな生活のお手伝いができるように、今後も市民講座を開催していきたいと考えています。



病院見学 随時受付中



病院説明会に参加しました！

病院の魅力を就活生に発信

2月15日土曜日、郡山市のビッグパレットふくしまでの医療系就職説明会に出展しました。30秒間PRでは、昭和の指導者に扮する高橋副看護部長と令和の指導者を演じる菊地看護師がドクターXのBGMの中バトルし、見事なものでした。

セリフ途中で時間切れになり幕が閉じたことも相まって会場が沸き、ブースに集まった方々には「当院の特徴」「JCHOの概要」「研修の豊富さ」「福利厚生」等について各担当が説明しました。(ゆるキャラのニャほんまつは可愛いと好評でした)

看護師向けには、JCHO独自ラダーがあること、急性期病棟・地域包括ケア病棟・訪問看護・老健施設と多岐に渡り、じっくり看護を究められる当院の魅力を伝えることができました。

総務企画課 岸部 佳弘

栄養管理室より

寒さの中に少しずつ春の訪れを感じる頃となりました。病院の食事にも、その時季ならではの彩りを添えています。節分には厄除けを願い「豆ごはん」、バレンタインには心とむ「チョコパンバロア」、ひな祭りには春を告げる「ちらし寿司」をご提供しました。お膳に添えたカードは、栄養士の手作りです。入院中でも食事の楽しさを味わっていただけるよう、心を込めてお届けしていきます。

栄養管理室 渡部 淳子

冬から春へ 行事食紹介



〈編集後記〉

あゆみ春号をご覧いただきありがとうございました。
1年があっという間に過ぎ去ってしまい、月日が経つ早さに驚きを隠せません。
令和7年度も地域の皆様に良質な医療を提供し、安心・信頼できる病院となるよう努めてまいります。

JCHO二本松病院 福島県二本松市成田町1-553
TEL.0243-23-1231 FAX.0243-23-5086
HP <http://nihonmatsu.jcho.go.jp>
発行者：あゆみ編集委員会